

スクエア SQUARE

特
集

それって愛かな？

～デートDVを知ろう～



メジロ



カワセミ



シメ

清瀬で冬に見ることができる鳥（撮影場所は裏表紙）

アイレックだより

2010(第15回)アイレックまつり

講演会
江戸再発見

お話とワークショップ
つなげよう!あなたの思い わたしの思い

話し合い
ひとり一人のステキな老後

映画
今日から始まる

朗読
茨木のり子を読む

清瀬市男女平等推進条例

Information

アイレックからのお知らせ

- ・ 人権週間記念事業
- ・ 2011(第16回)アイレックまつり実行委員募集

清瀬市男女共同参画センター（アイレック）

2010.12

70

特集

それって愛かな?～デートDVを知ろう～

近年「DV（ドメスティック・バイオレンス）」という言葉をよく見聞きするようになりました。夫婦間の暴力ととらえがちですが、実は、中・高校生や大学生など若いカップルの間でもおきています。

こうした交際相手への暴力を特に「デートDV」といい、年々被害が明らかに、相談が増加傾向にあります。

・携帯のメールを勝手にチェックしたりアドレスを消したりする

・異性の友人との交流を許さない

・相手が殴るのは私が怒らせたから

これらは「愛されている」からなのでしょうか？

若い人ほど恋愛にあこがれや幻想が強く、暴力を受けても「これが恋愛なんだ」と思ってしまうがち。「束縛される」「愛されている」と勘違いしている人も多いようです。

恋愛は、楽しい・うれしいはずなのに、相手が怖いと思ったことはありませんか。また、身近に傷つけられている人がいないでしょうか。恋愛の名のもとに正当化される「見えない暴力」には、人の心をこわし、ポジティブな思考をうばいとして相手を無気力にさせるメカニズムが隠されています。

日常生活の中にさまざまなかたちでひそむ「デートDV」をとりあげました。

(平川)

DVとは？

DV（ドメスティック・バイオレンス）とは、夫婦や恋人などの親しい関係にある人の間でおこる暴力のことです。被害者の多くは女性です。

自分の思いどおりに相手を支配（コントロール）する手段として、身体的、精神的、性的暴力などをふるうのです。そして、このようなさまざまな暴力で相手を思いどおりにし、それを繰り返して、エスカレートしていきます。どんなに親しい間柄であっても、暴力は「人権侵害」であり「犯罪」です。DVは身近な問題であり、絶対に許されないことだと改めて認識する必要があります。

デートDVを知っていますか？

デートDVとは、交際相手との間でおこる暴力のことをいいます。DV同様、相手を自分の思いどおりにする手段として暴力をふるいます。ふるわれた方は暴力的な言動さえも、愛されているから、嫌われたくないということなどで苦しみや痛みに耐えてしまいがちです。結果、その状態から抜け出せなくなっています。また急速に進

んだIT化・携帯電話による被害も増加しています。

・携帯電話・メールの被害

・頻りに電話やメールをする返事がないと怒る

・メールで行動を逐一報告させるアドレスを勝手に消される

・交際相手以外のアドレスを消すよう強要する

・携帯電話で裸の写真などを撮られ、脅される

・携帯電話を壊される

特に若い人たちの間では、一度セックスをしたことで親密な関係になったと思ってしまう傾向が見られます。その思い

込みから、セックスに限らず相手が望んでいない行為を強要すればそれは暴力なのです。また、相手が離れていった場合などストーカー行為や命の危険を感じる行為にはしることもあります。

(木下)

「ストーカー行為等の規制等に関する法律（ストーカー規制法）」（平成12年11月24日施行）

この法律はストーカー行為等を処罰するなど必要な規制を行うことと、被害者に対する援助等を定めており、被害者の身体、自由、名誉、生活の安全と平穏をストーカー行為の被害から守るためのものです。

デートDVってどんなこと？

〈経済的暴力〉

- ・お金を全部支払わせる
- ・借ったお金を返さない

〈身体的暴力〉

- ・物を投げつける
- ・顔や体をたたく
- ・髪の毛をひっぱたりする

〈言葉の暴力〉

- ・バカなどと言ふ
- ・言うことを聞けと命令する
- ・返事をせず無視をする
- ・別れるという
- ・自殺すると脅かす

〈責任転嫁〉

- ・「おまえが怒らせるからだ」など自分の非をいつも認めない

〈性的暴力〉

- ・セックスを強要する
- ・エッチなビデオを見せる
- ・避妊に協力しない

〈威嚇する〉

- ・「痛い目に合わせる」などと言う
- ・何かにつけて圧力をかけてくる

〈行動の監視〉

- ・居場所、何をしているか、誰といるかなど頻りにメールしてくる
- ・メールの返事が遅れると怒る

〈孤立させる〉

- ・付き合う相手、服装、趣味を限定する
- ・携帯電話を勝手にチェックしたり、アドレスを消したりする

これらの項目はすべて間違った考え方で
す。このように間違った思い込みが、こ
とが大切です。それがDVをなくすことに
つながります。

(木下)

- ・DVはめったにない、わずかな人たちの間でおきている.....☐
- ・暴力をふるうのは相手を嫌いになったときだと思う.....☐
- ・暴力をふるわれたら別れるはずだと思う.....☐
- ・暴力をふるわれるのは、ふるわれる方にも理由がある.....☐
- ・DVは相手を怒らせないように工夫すればなくすことができると思う.....☐
- ・加害者が反省し、DVをしなないと約束したら暴力はなくなるはずだと思う.....☐
- ・被害者は暴力をふるわれやすい性格を持っていると思う.....☐
- ・たとえ暴力をふるってもあとで謝れば許してあげるべきだと思う.....☐
- ・親しくなればひどい言葉や嫌がることをしても暴力じゃないと思う.....☐
- ・お互いの気持ちや考え方は同じでなければならないと思う.....☐
- ・嫌われたくないから、いつも相手に合わせるのは仕方がないと思う.....☐
- ・相手の行動を制限するのは好きな証拠だから暴力ではないと思う.....☐
- ・望んでいないのにセックスしてしまう人などいないと思う.....☐
- ・女の子の方から避妊してと言ったら嫌われると思う.....☐
- ・セックスを求められたら少タイヤでも応じた方がよいと思う.....☐
- ・「自分らしさ」より女らしさ、男らしさの方が相手に好かれると思う.....☐

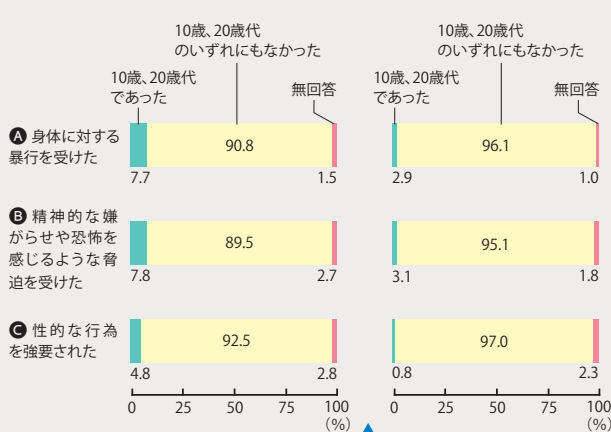
自分には無関係だと思わず左の項目のう
ち「うん、そうかも」と思うものに☑をつ
けてみましょう。

自分の意識を
チェックしてみましょう

交際相手からの被害経験（男女別）

【女性】(943人)

【男性】(799人)

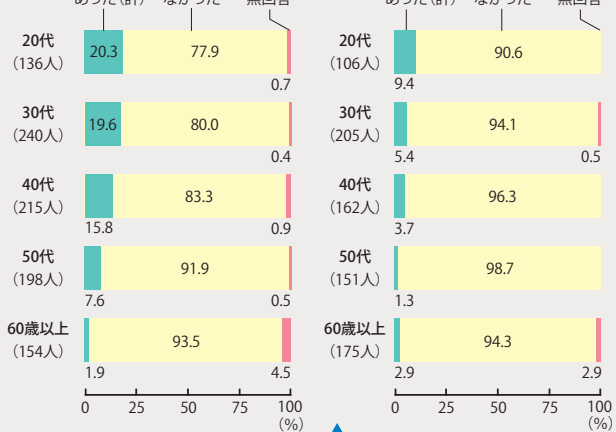


いずれの被害も女性が多い
A 約2.7倍 B 約2.5倍 C 6倍にも達する

交際相手からの被害経験（性・年齢別）

【女性】

【男性】



20代～30代では約2割、
5人に1人の女性が何らかのDV被害を受けている

出典:「男女間における暴力に関する調査報告書」(平成21年 内閣府男女共同参画局)

交際相手からの被害は?

なぜデートDVは
おきるの?

- ① 力を示すため暴力を選ぶ：相手を下に見たり、自分の方が正しいと思っていたりします。そして、相手をコントロールするための手段として暴力を使います。
- ② 相手を尊重しない：「男は強くあるべき」「女はしおらしくしているべき」などの固定観念を持っています。対等に付き合うことを学んでいないのです。
- ③ 性的に親密なふたりの関係がDVを潜在化させる：「プレイバシー」という壁があり、他の人にはDVがなかなか見えません。
- ④ 自分の問題・感情にどう向き合うかを学んでいない：相手に対する怒りを言葉ではなく態度や行動で表し、非難・攻撃するなど、自分の問題や感情にどう向き合うかを学んでいません。
- ⑤ 恋愛情報はテレビ・マンガ・雑誌などのメディアから：「束縛は愛」「女のイチャは好きのうち」などと偏見のある女性像・男性像が日常的にあふれています。
- ⑥ 正しい性知識がない：性感染症にかかったり、妊娠することもあります。

「デートDV」は暴力を容認している社会の問題でもあります。私たちの周りには、戦争、人種差別、いじめ、セクハラ、ハラスメント、パワーハラ、スメント、性暴力、児童虐待、高齢者虐待、DVなど、強い者が弱い者に暴力をふるうことがあふれていて、それを黙認しているのではないのでしょうか。

性別役割分業意識が根強く、男女の賃金格差など男性優位の社会の中では、一人ひとりの女性が尊重されにくいのです。



- ⑦ DVについての正しい知識がない：被害者も加害者も何がおきているかわからないことがあります。
- ⑧ 携帯電話、インターネットなどの利用が多い：これらの普及により、言葉が一方的になったり、常に相手を監視しやすい環境にあります。

(清水)

デートDVだと気づいたら 対処法

友だちがDVをされていたら

① じっくり聞く

② 責めない、批判しない

③ あなたが決めない、支える

まずは、友だちの話を時間をかけてじっくり聞いてあげましょう。そして、友だちの言うことを信じて「信じるよ」と言葉にして伝えます。

そして、絶対に責めたり批判したりしてはいけません。「別れなさい」と直接的に言っても、自分の意志で決めない限り解決にはなりません。「そんな目にあつていいはずがない」「あなたは悪くないよ」と何

度も言ってあげましょう。また、相手の悪口を言わないこと。暴力行為を主語にして「人を殴ることはいけないと思う」「相手のことを大切にしないな

いことだと思う」と一般化して言うほうが伝わりやすくなります。

大事なことは、あなたがすべてを解決してあげようと思わないことです。友だちが自分で決められるように支えます。暴力の話聞くことは想像以上に負担の大きいものです。「私では力不足だから…」

と、家族や先生など信頼できるおとなに話せるように支えてあげましょう。

友だちがDVをしていたら

① 伝える

② じっくり聞く

③一緒に考え、支える

暴力は「絶対許されないこと」「決して問題解決の方法にはならないこと」を伝えます。「相手も悪いからしょうがない」などと暴力を肯定するよう

なことを言っではいけません。暴力をふるうなら、相手に会わないように勧めましょう。

また、どうして暴力をふるったのか、相手のことをどう思っているのか最後まで聞いてあげましょう。間違っているのは暴力をふるっていること。友だち全部を否定しないようにします。

そして、暴力ではない解決方法や相手を傷つけない伝え方を一緒に考えます。それでも友だちが暴力をやめられないことで悩んでいたら、家族や先生など信頼できるおとなに助けを求められるように支えます。

暴力をふるいたくなったら

暴力をふるいたくなるときはどんなとき？ふるってし

まったときどんな気持ちだったでしょうか？

怒りは人間として自然な感情です。でも、怒りで相手を攻撃したり非難したりするのは暴力なのです。自分の感情を相手のせいにならないで、何でイライラしたか言葉で伝えることです。

どうしても感情がおさまらないときは、すぐにその場から離れて冷静になりましょう。冷静になれて、相手に話すべきは何で腹がたったかを素直に言葉で伝えましょう。

あなた自身は？

交際相手と対等な関係を築いていますか？自分の意思を変えさせられたり、怖いと感じたり。ありのままの自分では無理だと感じたら、勇気を出して、身近な人に相談してみましょう。

(清水)



デートDV防止教育

なぜ必要？

デートDVの被害者は、回復が困難なほど、心身に大きなダメージを受けることもあります。なかには、性的暴力により、妊娠中絶を余儀なくされたり、学業を中断せざるを得なくなること。これは、子どもの学習する権利を侵害し、その後の人生に大きな影響を与えます。

若者たちが、DVの被害者・加害者になってから、ましてやおとなになってからではDVの根底にある意識を変えることは、大変難しいと思います。若いうちから、デートDV防止教育を受けることに、その価値があるのではないのでしょうか。ぜひ、取り組んでほしいものです。

どんな学習？

① 言葉による暴力、相手を監視、束縛することも暴力であると認識できるような、デートDVに関する正確な理解を得られる要素を学ぶ。

② 幼児期から、その成長発達段階に応じた、男女平等意識の向上が図れる学習により、性別役割分業意識にとらわれない考え方を学ぶ。

③ 自分も相手も尊重して、対等な関係を築くことができる方法を身につける。

④ 被害を受けたときの相談相手として、友だちが95%という実状。友だちから相談を受けたときの対応について学び、デートDVについての正確な知識や理解を持った上で、被害者の立場で聞けることや、専門相談機関の情報を提供できるようにする。

デートDVについて学ぶことが「暴力容認」「力と支配」「女らしさ男らしさの偏り」など、自分自身の潜在的な意識や価値観に目を向けるきっかけになるのではないかと思います。若者たちが普通だと思っていることが、実はデートDVにつながることもあると気づき、友だちが悩んで困っていると

(海老川)



～本とHPの紹介～



「愛する、
愛される」

山口のり子 著
(梨の木舎)

DV加害者再教育プログラムを実施する民間団体「アウェア」代表の著者が書いたこの本、DVは逃げてばかりでは解決にならない、根本的に解決するには、男女の縛られた概念から自由になることだと教えてくれます。



「デートDVってなに? Q&A」

日本DV防止・
情報センター
編著(解放出版
社)

「DVと関係のない人はひとりとしていない」と、デートDVの実態、影響、対応や支援などがQ&Aでわかりやすく書かれています。IT発展とDVの関係が書かれた章はとても興味深く読めました。

<http://www.1818-dv.org/>
特定非営利活動法人
エンパワメントかながわ

「それってデートDVなんじゃない?」
デートDV予防サイト

カラフルな色遣いの絵でデートDVがわかりやすく描かれていますが、身近な例から解決策まで、とても見やすいサイトです。

<http://www.love-ok.jp/>
デートDV防止プロジェクト・
おかやま/岡山県備前県民局



恋する2人のまじめな相談
～あなたの悩みを教えてください～

「デート」も「DV」も関係ないと思っている人にも知ってほしい。被害者・加害者・友だちに相談されたらさまざまな立場で見ることができます。(平川)

～相談場所～

(清瀬市)

●清瀬市男女共同参画センター

☎ 042-495-7002

(アイレック DV相談)

第1・3・5 水曜日

第1・3 金曜日 10:00～16:00

(祝日・年末年始を除く)

●生活福祉課

☎ 042-492-5111

月～金曜日 8:30～17:00 (祝日・年末年始を除く)

(東京都)

●東京ウィメンズプラザ

☎ 03-5467-2455

9:00～21:00 (年末年始を除く)

●東京都女性相談センター

☎ 03-5261-3110

9:00～20:00 (土日・祝日・年末年始を除く)

●東京都女性相談センター多摩支所

☎ 042-522-4232

9:00～16:00 (土日・祝日・年末年始を除く)



自分も相手も大切に

私たちは一人ひとり違う意見や考えを持っています。

交際が始まると、好きな相手には、自分と同じように考え、一緒に行動してほしいと思うことがあります。束縛したい、また束縛されることが愛情だ、と考える人もいます。愛情だ、と考える人もいます。でもどんなに好きな相手でもそれぞれ違った意見や考えを持っています。意見が違って、相手が求めるように行動ができなくても、自分と相手は違っていいのだという気持ちを持ち、自分とは違う相手を認めることが大切なのではないでしょうか。

お互いを尊重するコミュニケーションとは、自分の気持ちや考えを素直に伝え、そして相手の気持ちや考えをゆっくり聞くことです。

「朝はいつも元気」「友だちもいるし、部活も頑張れる」「友だちができる」「自分が好きになれる」「など幸せと感じることや、辛いと思っていることを書き出してみよう。書くことによって、改めて自分の気持ちや考えに気づくことがあります。「気づく」ことは「自分を大切にすること」

につながります。

普段から自分の気持ちや考えを大切にしている人は、自分が傷つけられたとき「何となくイヤだな」と気づくことができます。でも大切にできていないと、傷つけられても気づかず「自分が悪いから」とか「相手に合わせないと」と思って自分らしさを見失い、いつの間にか大きな傷を負うことになってしまいます。

誰でも自分の生き方や体や心のことは自分で決定できる権利を持っています。たとえ親密な関係であっても、相手の気持ちや考えをコントロールすることは誰もしてはいけないのです。

自分を大切にすること、また相手の気持ちや考えを尊重することは、暴力をふるわないためにも、ふるわないためにも大切なことです。

(伊藤)



まとめ

日本でのDVへの取り組みは、近年始まったばかりです。2001年に「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」(DV防止法)が制定され、2008年1月には、さらなる改正DV防止法が施行されました。しかし、DV防止法には「交際相手への暴力」は含まれていません。「デートDV」が社会的に認識されたのも最近のことです。不思議なことに暴力をふるわれる人も、ふるっている人も、それがDVだとは気づいていないことがあります。3ページのチェック表にあったように、社会にあふれている間違った思い込みが気づくことが、DVをなくすことにつながるのです。

「暴力を認めない」「自分のことを大切にすること」「相手のことを大切にすること」これらのことを大切にして、交際相手だけではなく、周りの人と「すてきな関係」をつくっていききたいものです。

(平川)

2010 (第15回) アイレックまつり

10月9日(土)
10日(日)
11日(月)

男女共同参画センター（アイレック）は「女性も男性も性別にかかわらず個人として尊重され、平等にいきいき暮らせるまち」をめざして開設されました。これを記念して開催するアイレックまつりは、公募で集まった市民（実行委員会）が主催し、企画・準備・当日の運営も市民が行うアイレックならではの「市民参画」による手作りのイベントです。

講演会

江戸再発見

「本当の豊かさとは」

講師 田中 優子さん（法政大学教授）



田中 優子さん

江戸文化のすばらしさ

私は、今回お話をうかがい、いろいろ驚かされました。また、ひよつとして、江戸時代の考え方や工法こそ、現代や未来の日本を救うのではないかとも思いました。その理由は、戦地アフガニスタンで医療活動に従事する中村哲医師のお話からです。

本来なら単に患者を救うのが仕事であった中村医師は、水があれば農業を始められる、食べ物があれば患者の数を減らすことができるとの考えから、井戸を掘り始めたのです。

しかし、戦争によって破壊された村に、電気やトラックなどを入れる余裕などはありません。そこで利用されたのが、江戸時代の川堰づくりの工法でした。

江戸時代は人力社会であったた

め、全ての人が働いていました。中でも、特に農村での女性の労働力は一目おかれていました。農作物、織物や肥料づくりなど、江戸時代の多くの人々は、専門技術を持っていたといっても過言ではないのです。

また、現代と江戸時代の豊かさの違いは、求め方の違いにあるとお話もありました。現代は物にあふれ、お金を増やすことに豊かさを感じるのに対し、江戸時代はいかに自然と深く関り、循環を持続させるのが豊かさでした。

例えば人の排泄物（下肥）は、肥料になります。使いきった物は、燃やして灰にします。その灰で物を洗ったり、肥料として、再び自然に戻せるのです。

江戸時代には、初めて漫画の原点となる本が出版されています。例えば、大人向きの恋川春町の作品『無益委託』（現代のSF作品）では、今の時代を先取りしたような、吉原では老人ばかりが登楼し、家では若者が引きこもるなどの絵や話がかかれていました。

江戸時代は、戦国時代のように拡大の時代ではありません。縮小の時代でありながら、外国との接触や輸入品をモデルに、全部が国産品の手作り技術をどんどん生み出した、豊かな時代でもあったとのこと。

これまでの考えや価値観を変えることが、本当の豊かさを見つけられることにつながるかもしれないと、先生の言葉に深く共感しました。

江戸時代のような豊かさを学ぶためにも、農業が根本になければなりません。現在の農村の深刻な後継者不足の解決は、実に今後の重要な課題になることでしょう。

（生方）

お話とワークショップ

つなげよう！あなたの思いわたしの思い

参加から参画へ

講師 菊池 靖子さん

（清瀬市男女共同参画センター前センター長）

アイレック創立15周年の記念として、清瀬市男女共同参画センター・前センター長の菊池靖子さんから「参加から参画へ」という

内容の講演がありました。参画を推進する意図から、講演↓グループごとの話し合い↓発表↓まとめの話という形式をとりました。参加者は男性5名を含め30名を超え、年代も20代から80代と幅広く、大変意義のある講演会になりました。

まず参加と参画の違いや問題点をわかりやすく解説。参加に関して女性の場合は、強制、動員といった戦前の歴史があったこと、現在もまだ義務化される参加が多いことなどです。しかし、参加自体が悪いのではなく参加することで、参画へのきっかけを見出すことが大切なこと。また、主催者側がそのきっかけを作り出すことも大切なのだと。そして、参画をすすめるときの留意点として、

- ・活動の場の平等意識
- ・発言力の大小にかかわらず人の話はよく聞く
- ・データ等を使って客観的視野に立つて活動する
- ・参画した場合は自分が日常性とかけ離れていないか常に確認する

その上で課題を持つ人の立場に立つて考えたり、連携を作っていくことでいきいきとした活動の場になっていくと話しました。しかし配布資料から、日本社会に根強く残る性別役割分業意識などの理

由で女性の社会参画水準が国際的にみてかなり低い状態であることに驚き、かつ残念に思いました。

こうした講演をふまえてグループごとに話し合いをし、活発な意見交換ができました。発表内容は、
・参画するきっかけをどうつかむか
・女性が参画しようとする場合、周囲の環境の問題点
・人間関係のあり方や自己表現の難しさ

などがあげられました。最後にまとめとして、基本的には性別役割分業意識を変え、男性、女性の労働条件を改善していかなければならぬこと。こうした意識を変えていくためにも自らの意志でまず身近なことへ参画することが大事だとまとめました。

参画しようとする原動力を持つ人たちが集まれば、地域、組織、社会を少しずつでも変えていく。菊池さんの講演から、そう信じていることが

でき、今後
も何かの活動に参画し続けたいという意欲が持てました。

(木下)



菊池靖子 前センター長

話し合い

ひとり一人の

ステキな老後

講師 明珍 美紀さん
(毎日新聞記者)

秋雨の中、用意した椅子が足り

なくなるほど、多くの参加者があ

りました。その一部を紹介し

私は環境問題に関心を持ち取

材を重ね、その過程で多くの方々

にお会いしました。有機農業に携

わる男女や、ふるさとへのＵター

ン、Ｉターン組など。ともに増え

ています。環境の悪化を防ぎ地球

上のさまざまな生物を守ることが

大切。経済の発展ではなく、精

神的な充実を優先したいというこ

とではないでしょうか。これから

につくるために、若い世代へのアプローチも必要ですね。

(海老川)



講演会のようす

映画

今日から始まる

1999年／フランス／118分

物語の舞台は、フランスの北

部にあるエルナン。炭鉱の閉鎖に

より失業者があふれる貧しい町

で、主人公ダニエルは、幼稚園の

園長として教育に情熱を注いでい

ます。しかし、不況の波は子ども

たちの生活環境を変えます。授業

料を払えない親、電気も水も止め

られ、暖房もない一家、牛乳にパ

発しています。

「遠い国の出来事なのですが、今の日本と状況は変わらない」と話してくださった配給元・共同映画の藤野戸さん。子どもたちの姿をいきいきととらえた映像は、国を超えて世代を超えて、心に深く刻まれたことでしょう。雨の中、たくさんの方が足を運んでくださいました。

(平川・清水)

朗読

茨木のり子を

読む

～時代とともに～

市民公募されていた朗読に私も読人として参加しました。大勢の来場者が見守る中、壇上にスポットライトが当たると、ドレスアップして緊張ぎみの朗読者が登場。

(伊藤)



読人と来場者が全員で朗読

次第に茨木のり子の世界へと入って行きます。茨木のり子は言います。私が一番きれいだった青春のとき、第2次世界大戦で日本は戦争に負けたと。国土は荒廃、誰もが委縮していた時代から高度経済成長時代に入ると、自分の感受性くらゐ自分で守れ「ばかものよ」と檄を飛ばします。この詩を朗読して私は、茨木のり子という偉大な詩人に戒められているようでつい「すみません。今後は心して生きていきます」と深く頭を下げた衝動に駆られました。

個性豊かに読む朗読者たちに、来場者もたくさん拍手で会場の雰囲気盛り上げてくれました。「感動した!」と大好評でした。

バザー用品提供のお礼

69号でお願いしましたバザー用品の提供につきまして、たくさんのご協力をいただきました。ありがとうございました。おかげさまで、バザーは盛況のうちに終了することができました。売上金は、アイレックまつりの運営に活用させていただきます。



バザー会場のようす

清瀬市男女平等推進条例

(平成18年7月1日施行)

5つの重要な柱 (基本理念)

1. すべての人が個人として人権を尊重され、自分らしく生きることが保障されること
2. 性別役割分担にとらわれず、自己の意思と責任による多様な生き方が選択できること
3. 女性も男性も家庭生活と社会活動の両立ができるような環境をつくること
4. 女性が社会のさまざまな領域でもっと企画や活動方針を決定する場に進出すること
5. 互いに性を理解し尊重し合い、性に基づいた健康が生涯にわたり維持されること

Information

編集後記

■自分を大切に思う心と同じように相手に大切に思う。人間関係をよりよいものにするため生涯お互いに良い関係を築いていきたいものです。
(伊藤)

■今回の特集で、もっと若いころから人権尊重について、考えさせる教育は行っべきだと感じました。
(生方)

■「デートDV」は、娘が大学生なので、身近な問題です。これからも、親娘のコミュニケーションを大切にしたいと思っています。
(海老川)

■日常、無意識に使った言動が社会的に作られてきた偏見や差別になっていないか、意識して見直す必要があるのではないのでしょうか。
(木下)



■「自分を大切にすること、相手を手を大切にすること」対等な人間関係を築きたいです。
(清水)

■星空がきれいなこの季節。心の底から笑ってデートしている人が、増えますように!!
(平川)

次号71号の発行は2011年4月1日です

ミス Ms. は女性を総称し、スクエアは広場や広報を意味しています。
アイレック (ILEC) とは、
Information (情報)・Learning (学習)
Exchange (交流)・Consultation (相談)
の頭文字をとった「清瀬市男女共同参画センター」の愛称です。

表紙の鳥の撮影場所
メジロ…金山緑地公園
カワセミ…金山調整池
シメ…金山緑地公園

発行/清瀬市男女共同参画センター
発行日/平成22(2010)年12月1日
企画・編集/清瀬市男女共同参画センター
〒204-0021 清瀬市元町1-2-11 アミュービル4階
☎042-495-7002 FAX 042-495-7008
女性広報「Ms.スクエア」編集委員会
編集委員/伊藤ムツエ/生方夏如/海老川洋子
/木下由子/清水香/平川ちひろ
イラスト/平川ちひろ
写真/海老川文彦(清瀬の自然を守る会)

アイレックからのお知らせ

人権週間記念講演会

政治の場に女性の参画を増やそう!

～パリティの論理とは～

女性と男性の人口はほぼ半数。しかし、政策決定の場に女性の代表が少ないのが現実です。女性と男性がバランスよく参画することは、すべての人に公平でバランスのとれた社会にふさわしい多様な考え、価値観、態度を生み出すことにつながります。政治の場への平等参画を目指した取り組みについて学んでみませんか。

日 時: 12月12日(日) 午後2時～4時

講 師: 糠塚 康江さん(関東学院大学教授)

会 場: 男女共同参画センター会議室(アミュービル4階)

参加ご希望の方は、直接会場にお越しください。

2011(第16回)アイレックまつり 実行委員募集!!

6ページと7ページの「アイレックまつり」の取材記事をご覧いただきましたか? すべてのイベントを市民(実行委員)が企画・準備し、当日の運営もしています。

次回の実行委員としてあなたもアイレックまつりに参加してみませんか? ぜひご連絡ください。

一緒に、日ごろの思いやアイデアを出し合い「カタチ」にしましょう!

申込期日: 1月11日(火)

清瀬市男女共同参画センター(アイレックまつり実行委員会事務局)へ

電話: 042-495-7002 FAX: 042-495-7008

「Ms.スクエア」の音訳CDを作成しています。ご希望の方は、男女共同参画センターへご連絡ください。

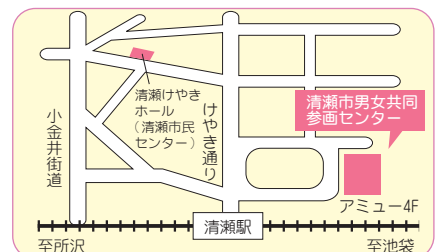
皆様の声募集中

「Ms.スクエア」は公募による市民の編集委員6人が企画編集して発行している情報誌です。70号はいかがでしたか? ご意見、ご感想、今後取り上げてほしいテーマなどを、郵送・FAXでアイレックまでお寄せください。



パープルリボン運動

社会・地域・学校・家庭などでのあらゆる暴力をなくすことを目的とする国際的な啓発運動



「Ms.スクエア」はシルバー人材センター(☎494-0903)会員がお届けしています